

浦安市学力調査結果の概要



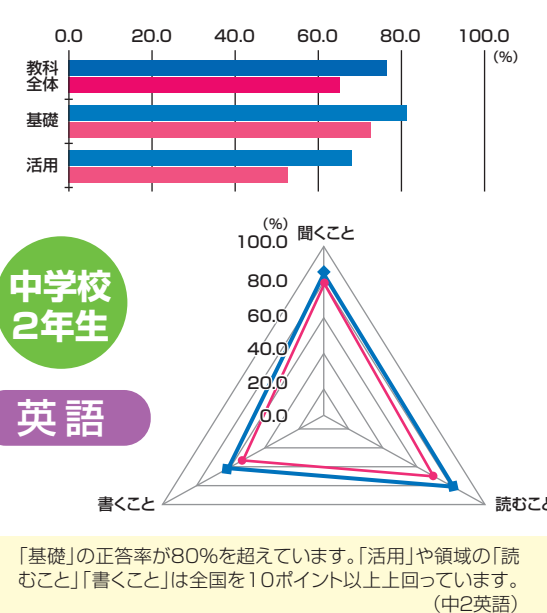
浦安市 全国

浦安市学力調査は、市立全小学校四年生と市立全中学校二年生を対象に、毎年実施しています。本年度は、六月八日(金)に実施しました。

各教科の調査結果を、「教科全体」「基礎」「活用」と「領域」に分け、グラフとリーダーチャートで表しました。この調査において「基礎」とは「各教科で必ず身につけてほしいことについての問題」、「活用」とは「『基礎』の力を使って解決する問題」のことです。また、「領域」とは「各教科の内容を分野別に分けたもの」です。なお、青い線が浦安市の平均正答率(%)で、赤い線が全国の平均正答率(%)となっています。この調査をもとに、各学校では授業改善に取り組んでいます。



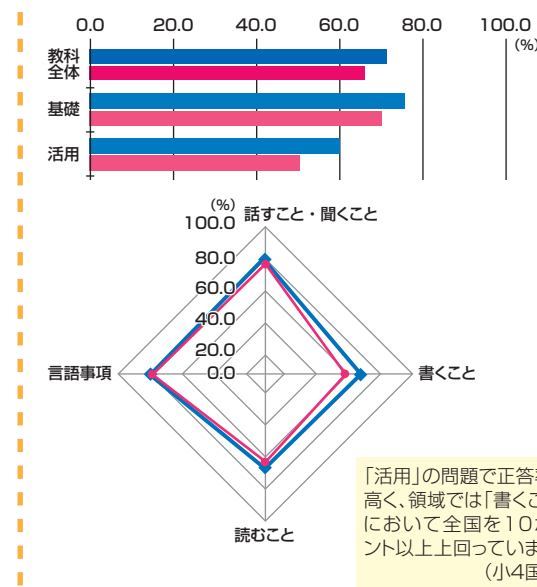
8月23日に各校より担当者が集まり、各校の取り組みの報告とともに、今後の学力向上に向けて熱心に討議しました。



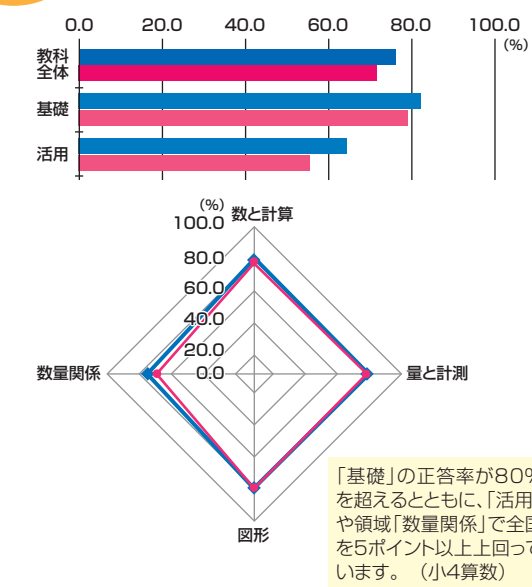
今回の調査結果を受け、各校で児童生徒の実態に合わせた学力向上の取り組みを引き続き行っていきます。同時に、「基礎・基本の定着」や「活用力の育成」をより一層図るよう、きめ細かな指導を推進していきたいと考えています。なお、調査結果については、教育研究センターホームページ (<http://www.city-urayasu.ed.jp/dd.aspx?menuid=1>)でもご覧になれます。

小学校4年生

国語

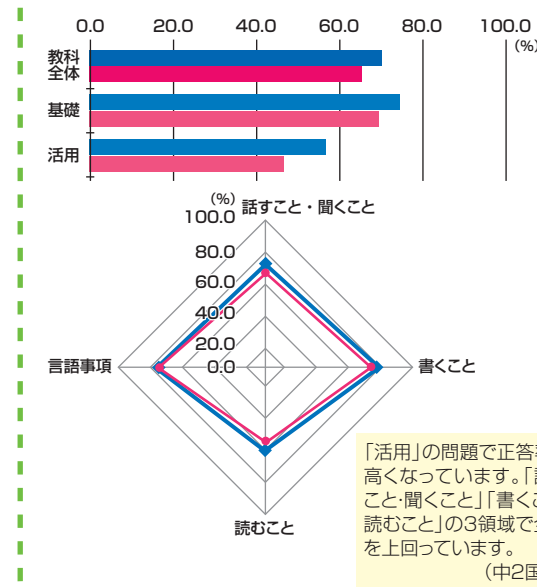


算数

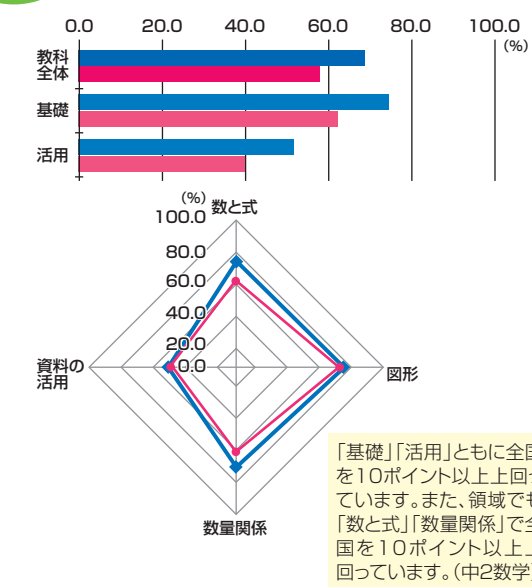


中学校2年生

国語



数学



美浜中学校三年畝本涼さんが、六月にメキシコシティーで開催されたロボットコンテスト「ロボカップ2012」のジュニア部門に初出場、初優勝の快挙を成し遂げました。この大会は、世界二十数か国が参加する国際的な科学コンテストです。畝本さんは、日本代表チームのひとりとして、十五歳未満のジュニア部門「レスキューAプライマリ」に出場しました。この部門は、災害にあった二階建ての建物を想定したコース上の障害物を乗り越え、被災者に見立てた缶をロボットで安全圏に運ぶ正確さと速さを競うものです。



世界一になったことを松崎市長へ報告

美浜中学校

祝 ロボカップ世界大会 ジュニア部門優勝



ロボットの頭脳部分である、プログラミング担当の畝本さんは、過去の大会の課題を研究し、「どんな状態でも動けるようにシミュレーションしながら、「想定外を想定内にする」プログラミング」に苦勞したそうです。

また、優勝決定後に行われた親善交流試合では畝本さんはドイツの同世代の仲間と協力してチームを組み、そこでも優勝し、二つの世界一を手にしました。「コミュニケーションは片言の英語だったけど、プログラミング言語は世界共通なので、言葉の壁はありません。困ることはありません。困りません。困りません」と頼もしく答えてくれました。



世界大会の様子を説明する畝本さん